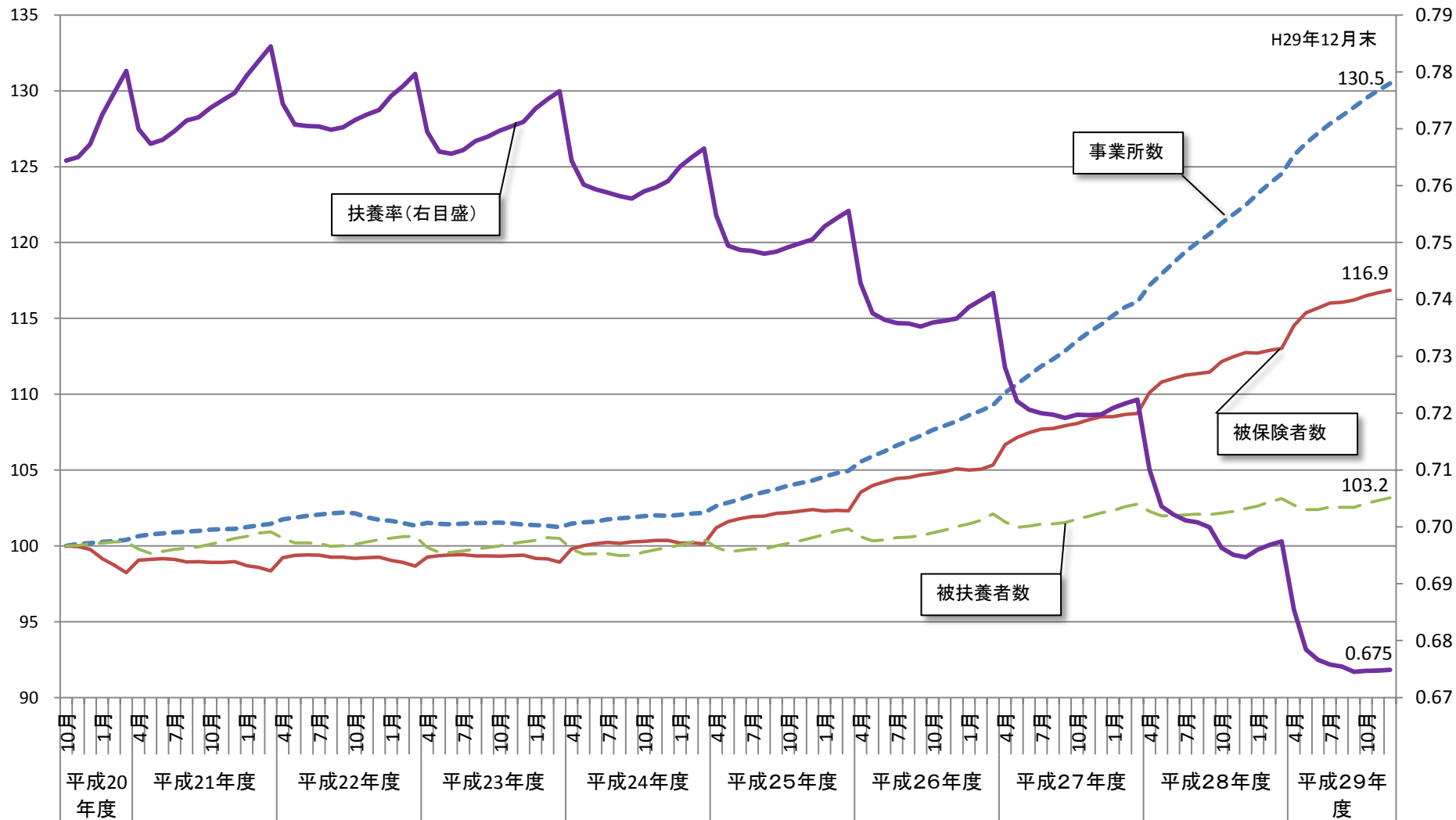


協会けんぽの適用状況の分析

I . 概要

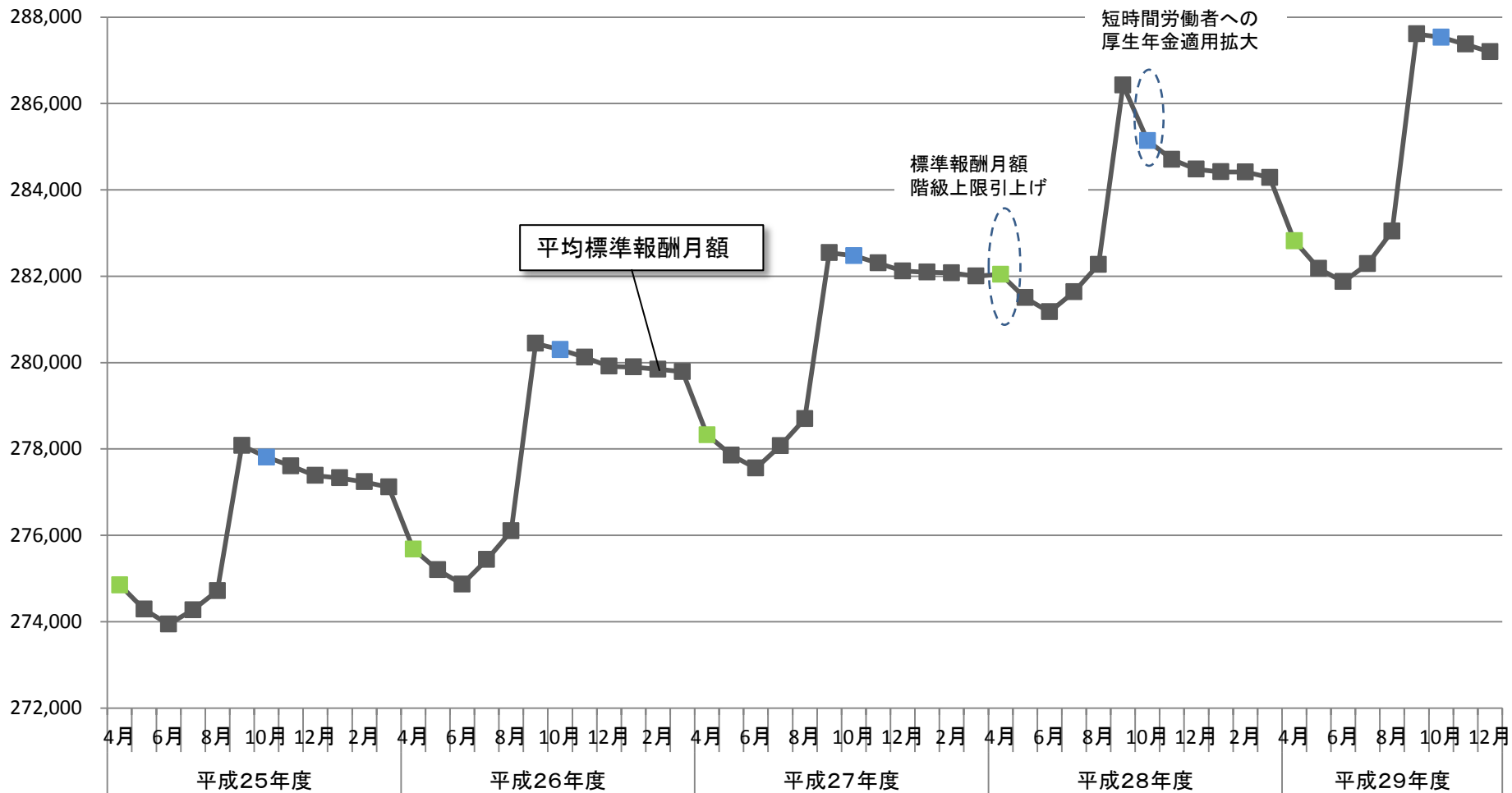
協会けんぽの事業所数・被保険者数・被扶養者数の推移(指数)



※ 平成20年10月末における事業所数、被保険者数、被扶養者数をそれぞれ100とし、その後の数値を指数で示している。

協会けんぽ被保険者の平均標準報酬月額・平均年齢・男女比の推移

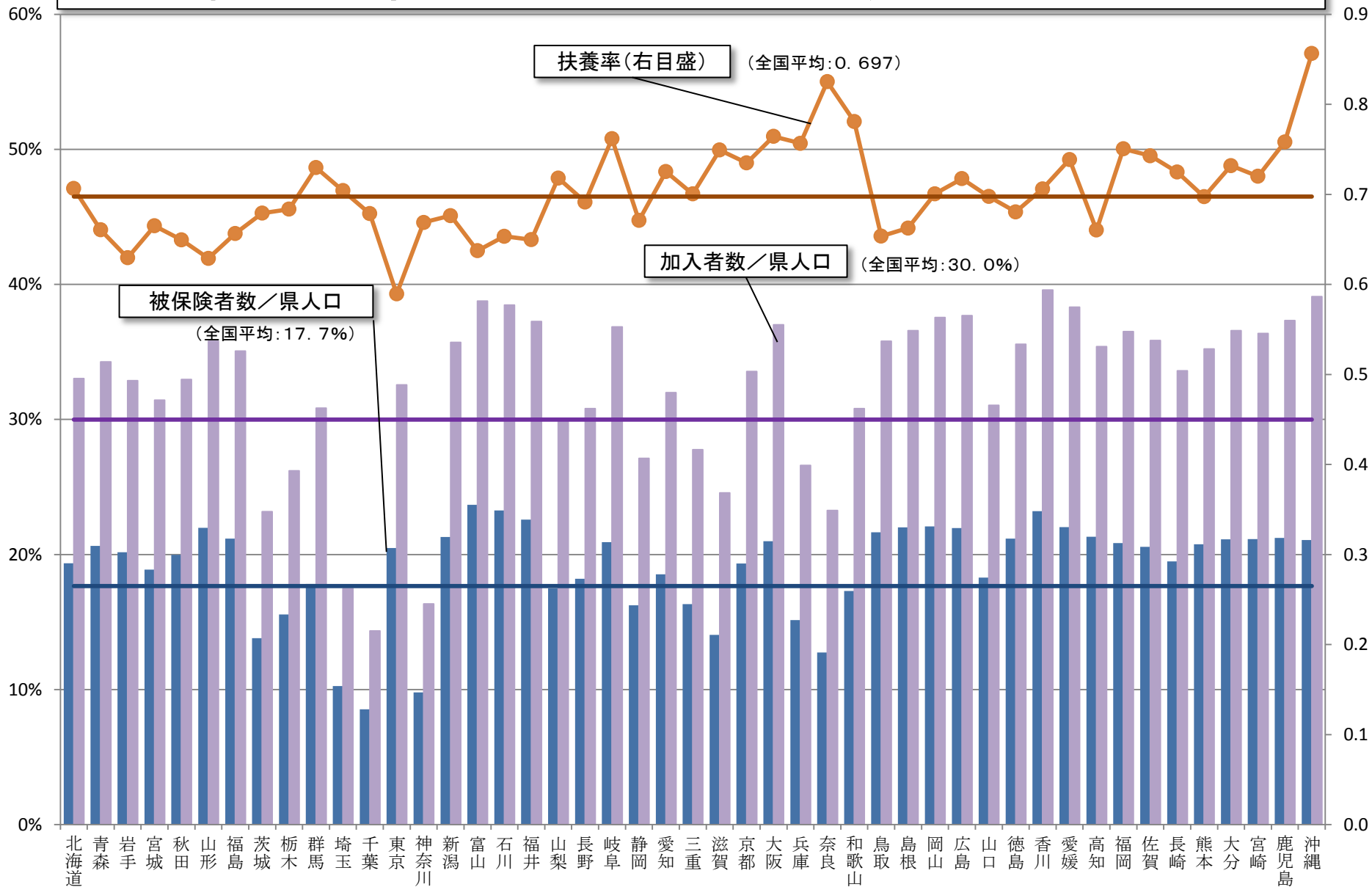
(円)



◎ 平均年齢と男女比の推移

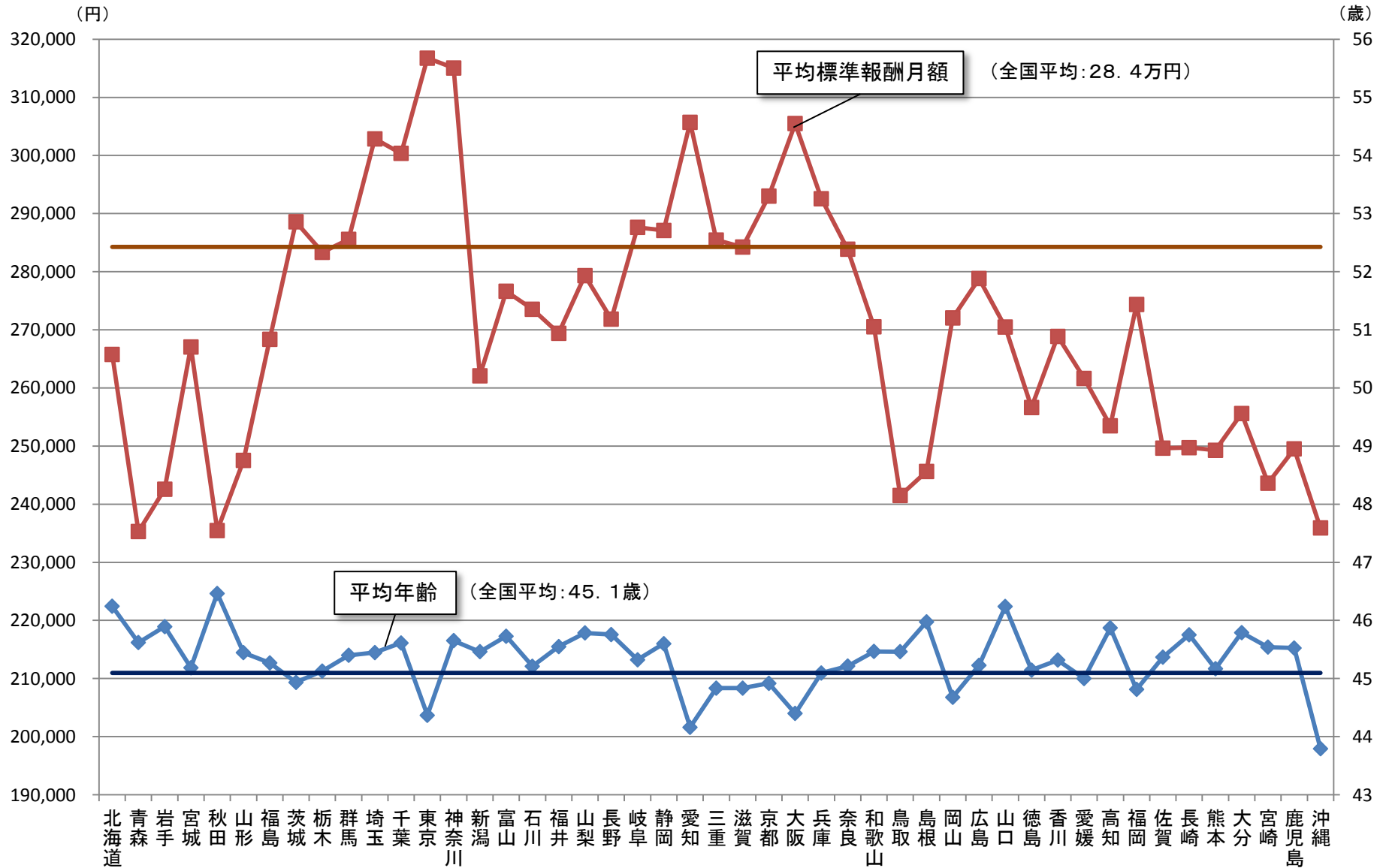
年月末	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	H29.12
平均年齢(歳)	44.4	44.6	44.8	45.1	45.2
男女比	0.611:0.389	0.611:0.389	0.610:0.390	0.607:0.393	0.606:0.394

都道府県別協会けんぽ被保険者等の状況



注:協会けんぽの被保険者数、被扶養者数は平成28年度末時点、県人口は平成28年10月1日時点の数値である。

都道府県別協会けんぽ被保険者の平均年齢・平均標準報酬月額



注:平成28年度末時点における協会けんぽ被保険者の平均である。

(参考) 協会けんぽ被保険者と厚生年金被保険者との比較

◆ 協会けんぽ被保険者と、組合健保被保険者も含んだ厚生年金全体の被保険者との比較をする。

図1 事業所規模別被保険者数の分布の比較

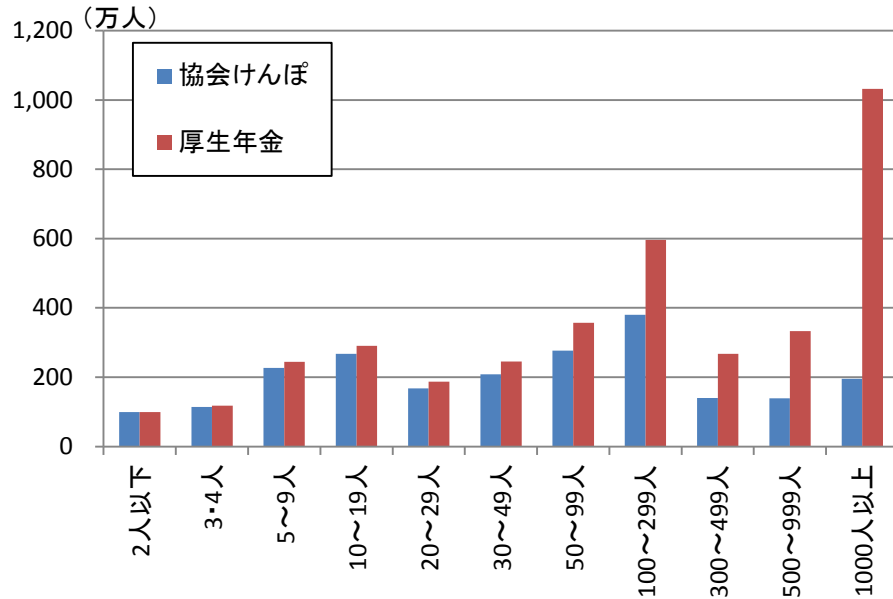


図2 事業所産業別被保険者数の分布の比較

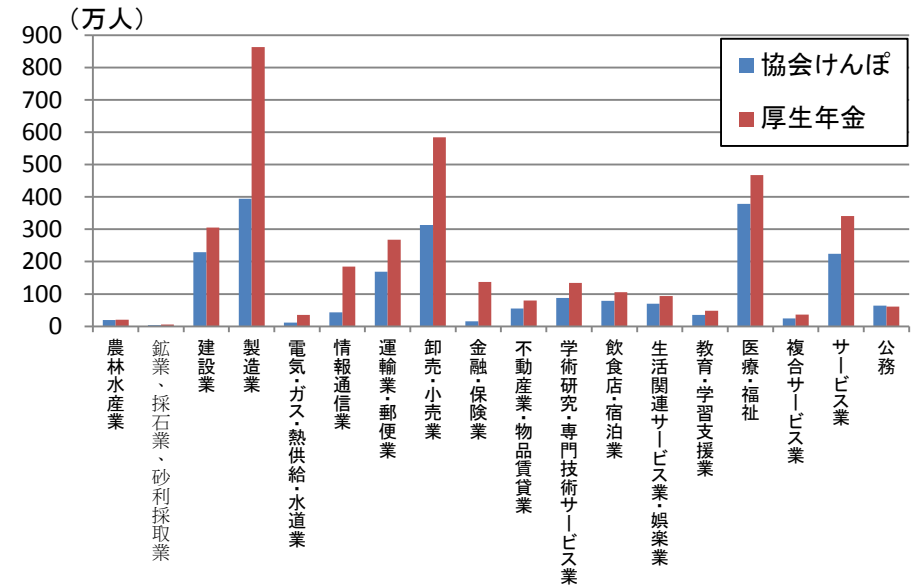


表1 平均年齢の比較

	被保険者の平均年齢
協会けんぽ	44.8歳
厚生年金	43.2歳

表2 平均標準報酬月額額の比較

	被保険者の平均標準報酬月額
協会けんぽ	28.4万円
厚生年金	30.8万円

表3 男女比の比較

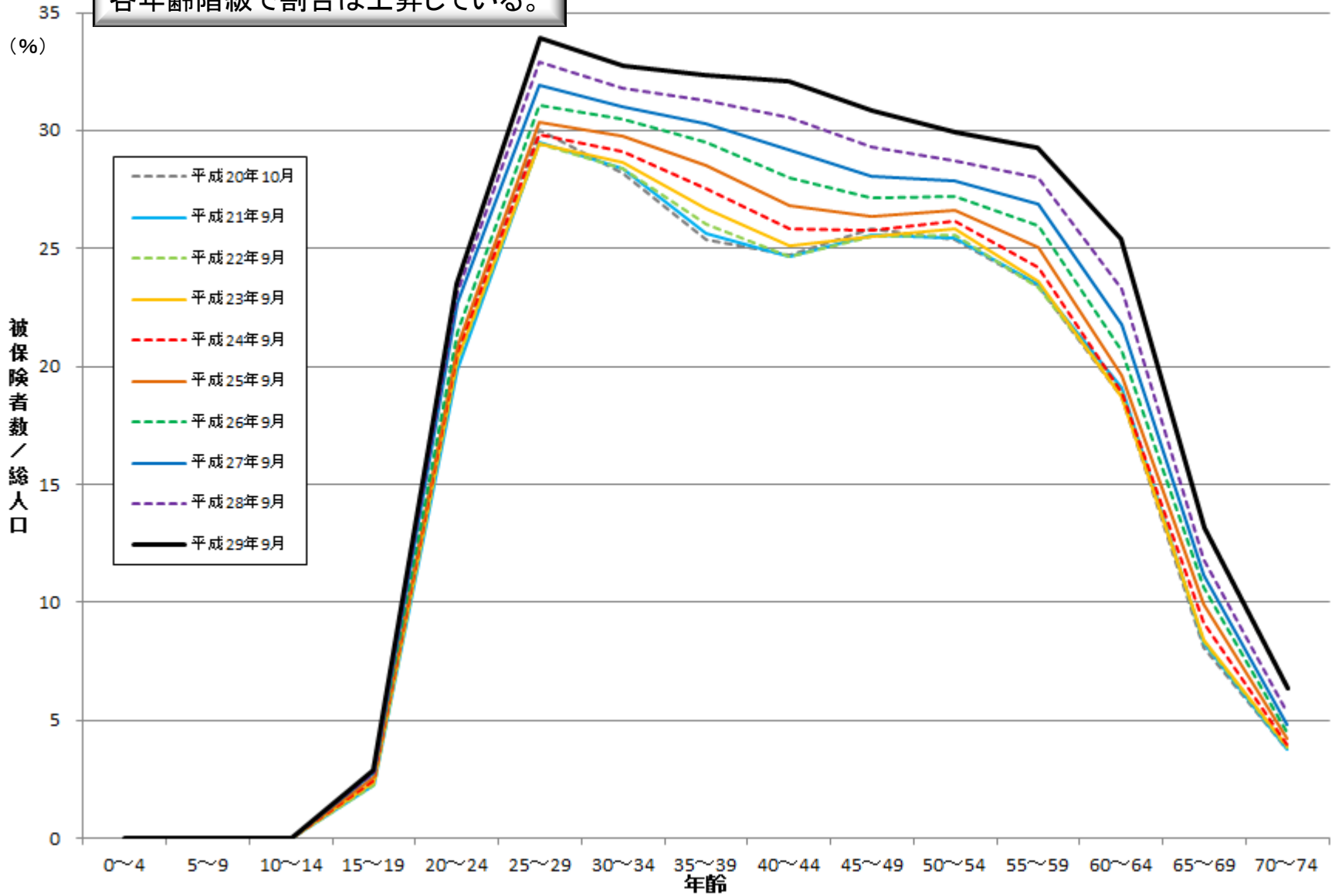
	被保険者の性比 (男:女)
協会けんぽ	0.607:0.393
厚生年金	0.627:0.373

注: 図1・2は協会けんぽについては平成29年3月末時点、厚生年金については平成28年9月1日時点の数値、表1は平成28年3月末時点の数値、表2・3は平成29年3月末時点の数値である。

Ⅱ. 協会けんぽの年齢階級別加入者数割合の動向

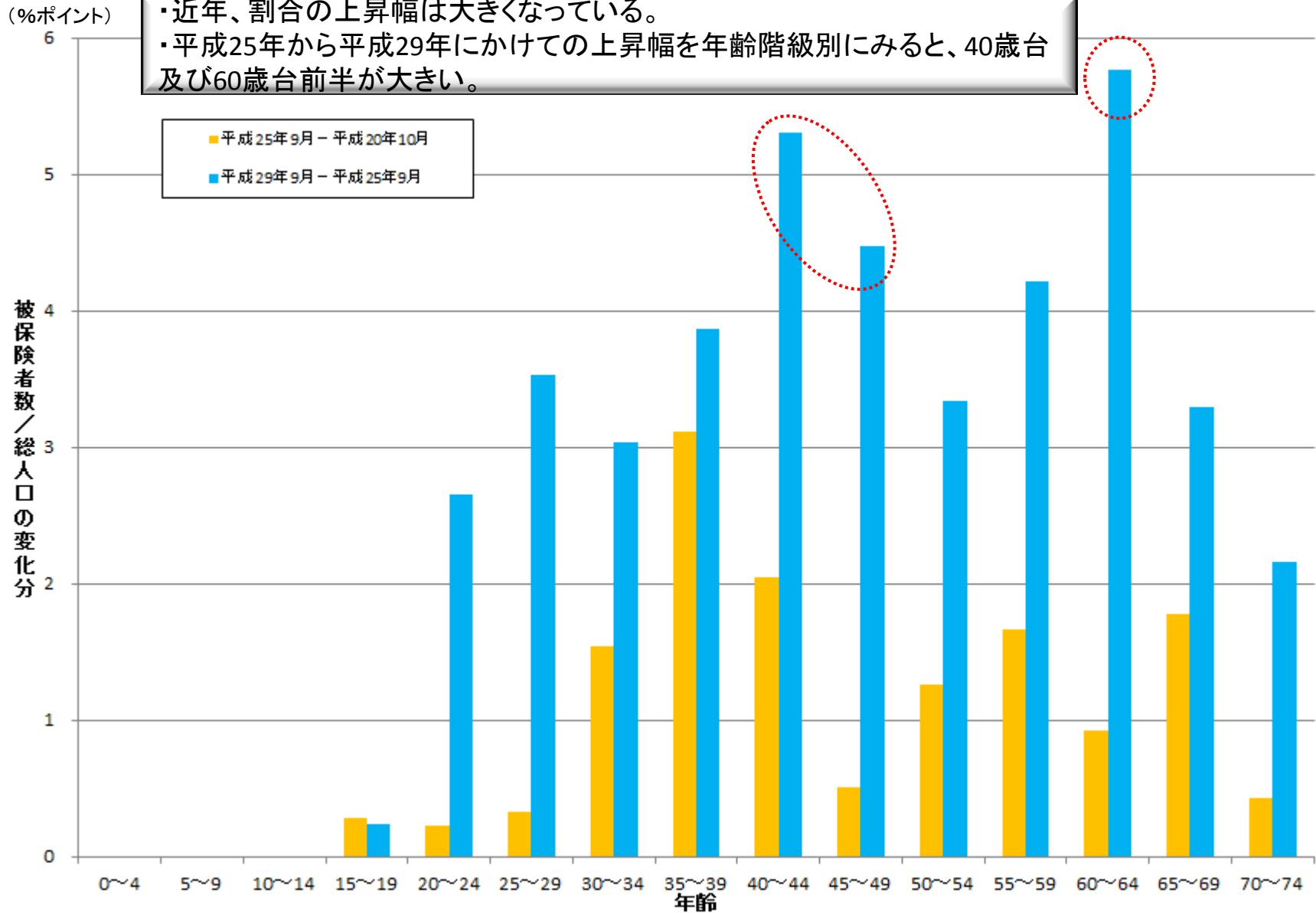
協会けんぽの年齢階級別被保険者数の総人口に占める割合の推移

各年齢階級で割合は上昇している。



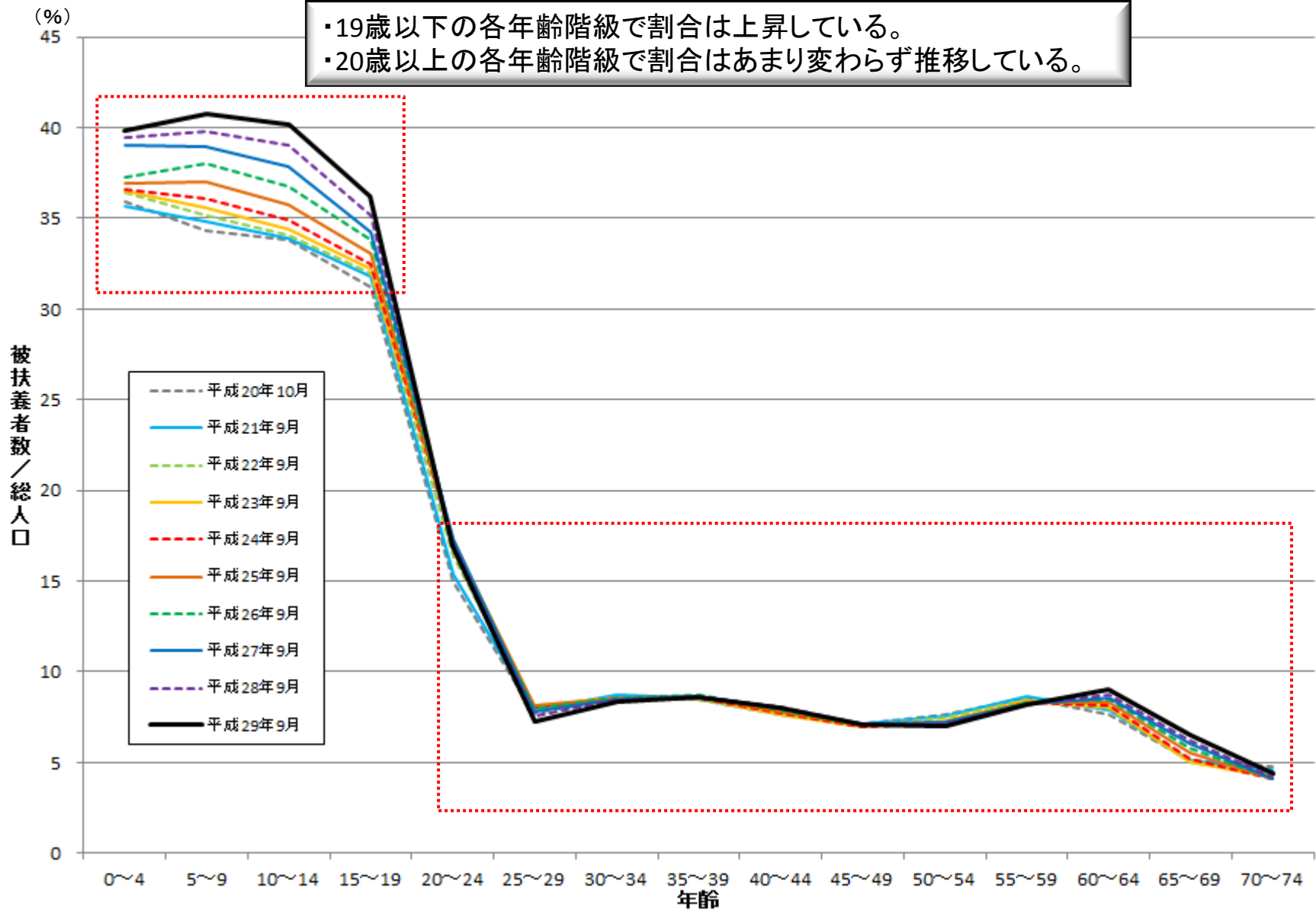
注：総人口は各年10月1日時点の数値である。

協会けんぽの年齢階級別被保険者数の総人口に占める割合の変化



注：総人口は各年10月1日時点の数値である。

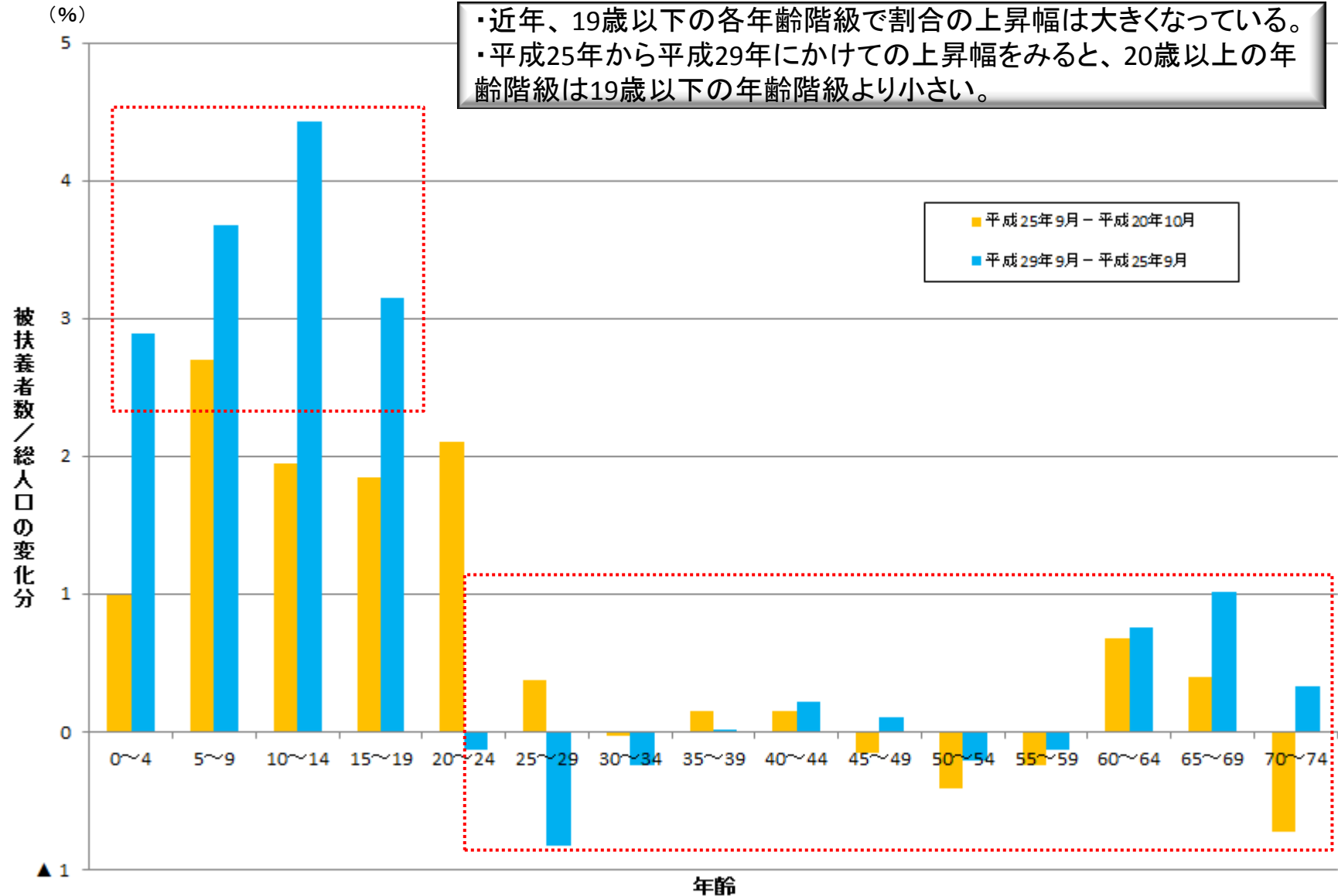
協会けんぽの年齢階級別被扶養者数の総人口に占める割合の推移



注：総人口は各年10月1日時点の数値である。

協会けんぽの年齢階級別被扶養者数の総人口に占める割合の変化

・近年、19歳以下の各年齢階級で割合の上昇幅は大きくなっている。
 ・平成25年から平成29年にかけての上昇幅をみると、20歳以上の年齢階級は19歳以下の年齢階級より小さい。

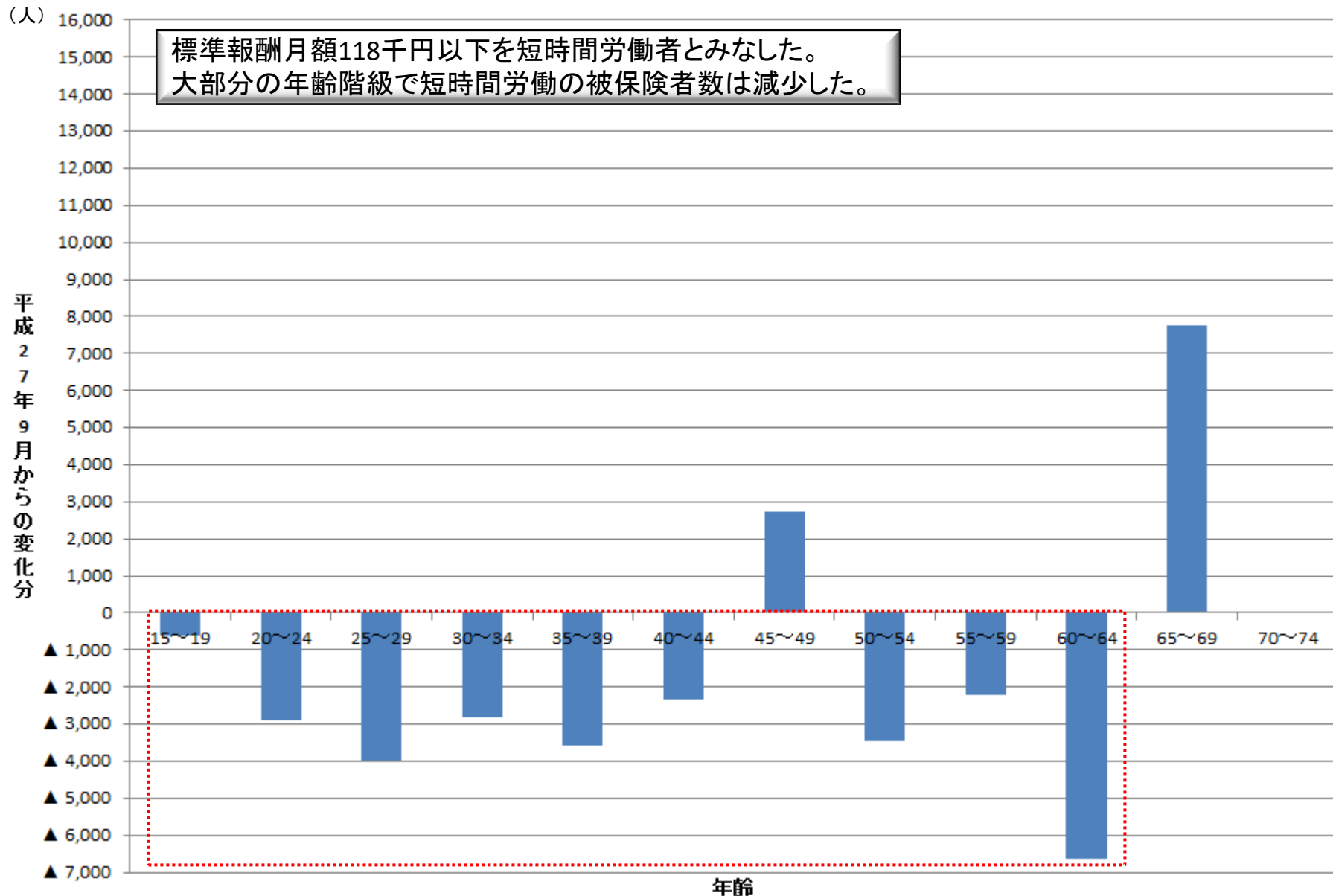


注：総人口は各年10月1日時点の数値である。

Ⅲ. 短時間労働者への厚生年金適用拡大 (平成28年10月実施)に係る分析

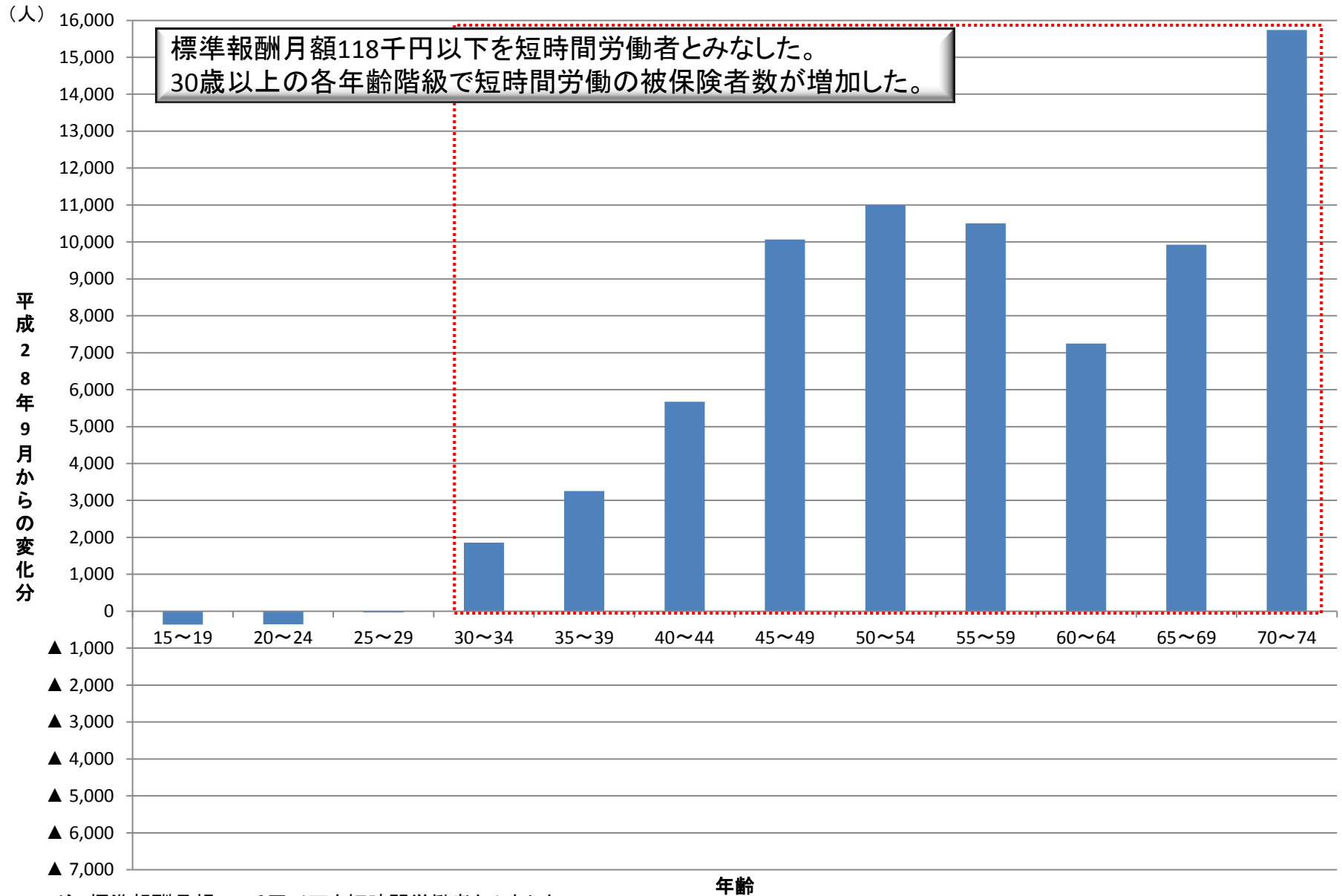
Ⅲ－１．協会けんぽの年齢階級別短時間労働の 被保険者数の動向

協会けんぽの年齢階級別短時間労働の被保険者数の動向(平成27年9月→平成28年9月)



注: 標準報酬月額118千円以下を短時間労働者とみなした。

協会けんぽの年齢階級別短時間労働の被保険者数の動向(平成28年9月→平成29年9月)



注: 標準報酬月額118千円以下を短時間労働者とみなした。

Ⅲ-2. 平均標準報酬月額の前年変化の 寄与別分解

平均標準報酬月額の前年伸び率を寄与別に3つに分解した。
なお、標準報酬月額118千円以下を短時間労働者とみなした。

$$\begin{aligned} \text{対前年伸び率} = & \text{①平均標準報酬月額(118千円以下)の変化分} \\ & + \text{②平均標準報酬月額(118千円超)の変化分} \\ & + \text{③短時間労働の被保険者数割合の変化分} \end{aligned}$$

平均標準報酬月額(118千円以下)が増加すると①はプラス、平均標準報酬月額(118千円超)が増加すると②はプラスとなる。一方、短時間労働の被保険者数割合が上昇すると③はマイナスとなる。①、②がプラスでも③がマイナスの場合、対前年伸び率がマイナスとなることがある。

【参考】平均標準報酬月額の前年変化の寄与別分解について

w_*^t : t 年度の標準報酬月額区分別標準報酬月額の平均

n_*^t : t 年度の標準報酬月額区分別被保険者数割合

* $\begin{cases} \text{u: 118千円以下} \\ \text{o: 118千円超} \end{cases}$

$$w^t = w_u^t \cdot n_u^t + w_o^t \cdot n_o^t \quad \text{対前年伸び率}$$

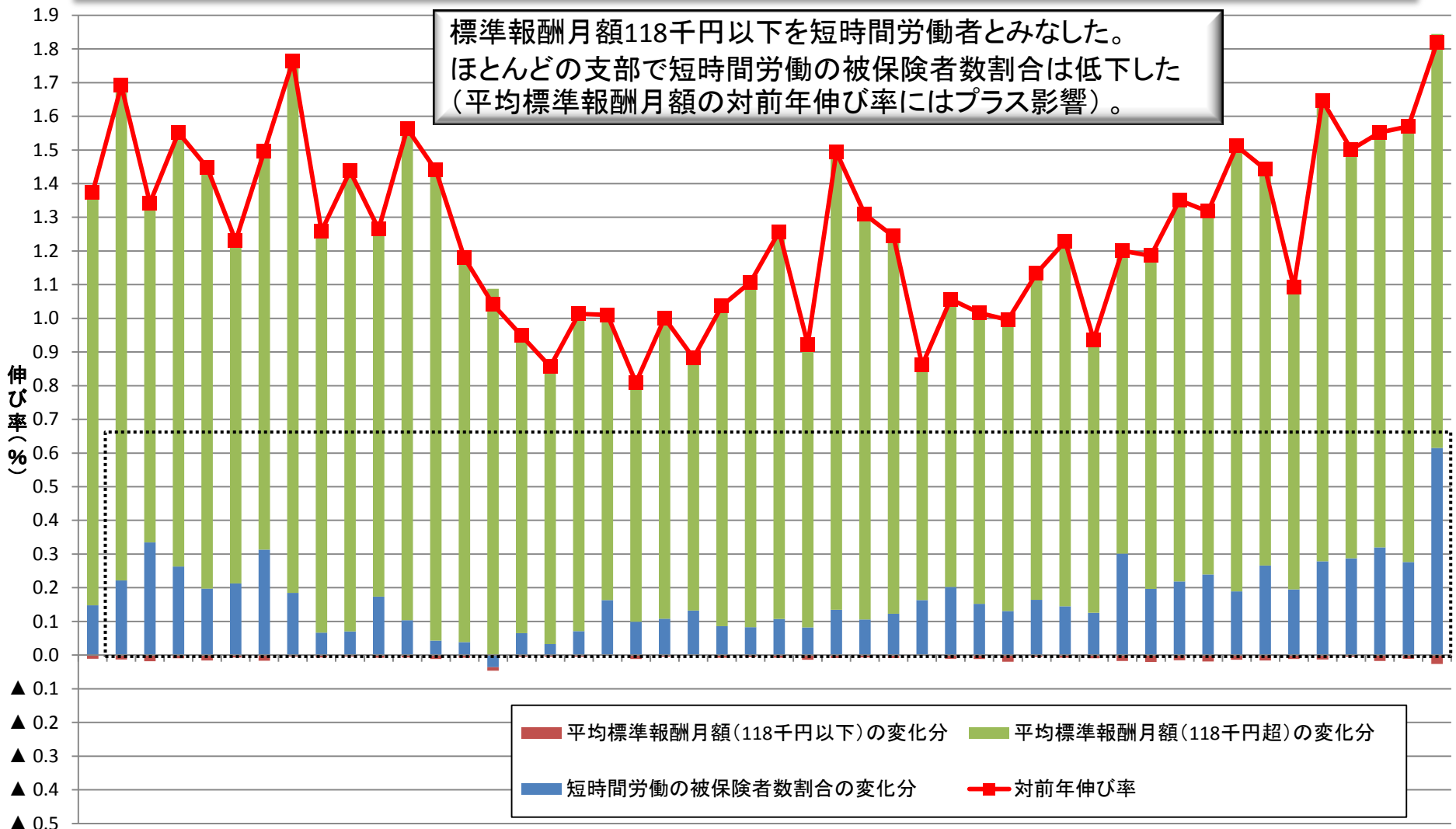
$$\frac{w^{t+1}}{w^t} - 1 = \frac{w_u^{t+1} \cdot n_u^{t+1} + w_o^{t+1} \cdot n_o^{t+1} - (w_u^t \cdot n_u^t + w_o^t \cdot n_o^t)}{w^t}$$

$$= \underbrace{\frac{n_u^{t+1} + n_u^t}{2} \cdot \frac{w_u^{t+1} - w_u^t}{w^t}}_{\text{①}} + \underbrace{\frac{n_o^{t+1} + n_o^t}{2} \cdot \frac{w_o^{t+1} - w_o^t}{w^t}}_{\text{②}} + \underbrace{\frac{(w_o^{t+1} + w_o^t) - (w_u^{t+1} + w_u^t)}{2} \cdot \frac{n_u^t - n_u^{t+1}}{w^t}}_{\text{③}}$$

- ① 平均標準報酬月額 (118千円以下) の変化分 ② 平均標準報酬月額 (118千円超) の変化分 ③ 短時間労働 (標準報酬月額118千円以下) の被保険者数割合の変化分

協会けんぽの支部別平均標準報酬月額の変化の寄与別分解 (平成27年9月→平成28年9月)

標準報酬月額118千円以下を短時間労働者とみなした。
ほとんどの支部で短時間労働の被保険者数割合は低下した
(平均標準報酬月額の前年伸び率にはプラス影響)。



- ▲ 0.1
- ▲ 0.2
- ▲ 0.3
- ▲ 0.4
- ▲ 0.5

■ 平均標準報酬月額(118千円以下)の変化分
 ■ 平均標準報酬月額(118千円超)の変化分
■ 短時間労働の被保険者数割合の変化分
 —■— 対前年伸び率

全 北 青 岩 宮 秋 山 福 茨 栃 群 埼 千 東 神 新 富 石 福 山 長 岐 静 愛 三 滋 京 大 兵 奈 和 鳥 島 岡 広 山 徳 香 愛 高 福 佐 長 熊 大 宮 鹿 沖
 国 海 森 手 城 田 形 島 城 木 馬 玉 葉 京 奈 潟 山 川 井 梨 野 阜 岡 知 重 賀 都 阪 庫 良 歌 取 根 山 島 口 島 川 媛 知 岡 賀 崎 本 分 崎 児 縄
 道

注: 標準報酬月額118千円以下を短時間労働者とみなした。

協会けんぽの支部別平均標準報酬月額の変化の寄与別分解 (平成27年9月→平成28年9月)

標準報酬月額118千円以下を短時間労働者とみなした。
ほとんどの支部で短時間労働の被保険者数割合は低下した
(平均標準報酬月額の対前年伸び率にはプラス影響)。

(単位:千円、伸び率は%)

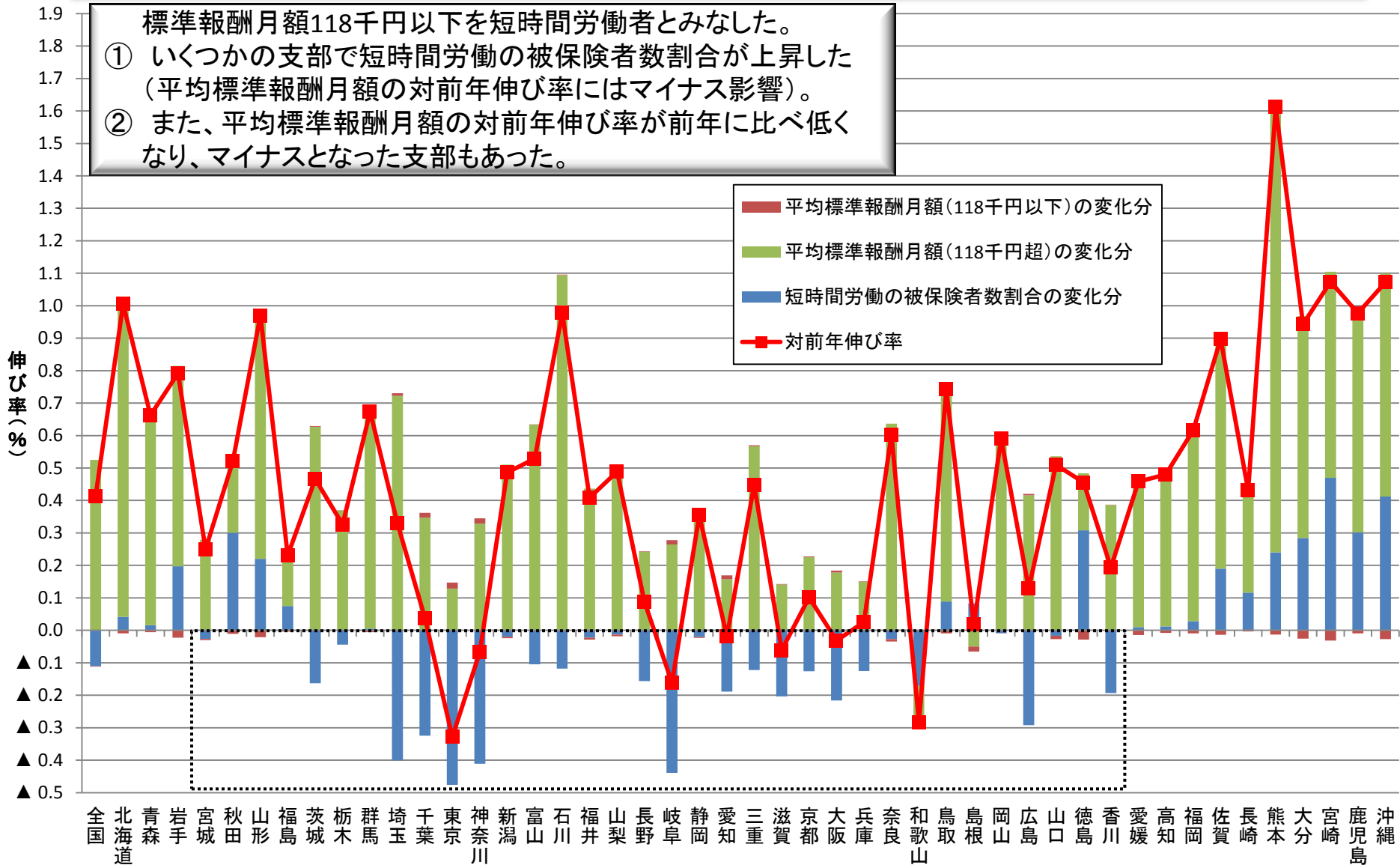
都道府県	H27.9	H28.9	対前年伸び率	平均標準報酬月額(118千円以下)の変化分	平均標準報酬月額(118千円超)の変化分	短時間労働者の被保険者数割合の変化	都道府県	H27.9	H28.9	対前年伸び率	平均標準報酬月額(118千円以下)の変化分	平均標準報酬月額(118千円超)の変化分	短時間労働者の被保険者数割合の変化
				▲	▲	▲					▲	▲	▲
全国	282.5	286.4	1.4	▲ 0.0	1.2	0.1	三重	284.1	287.7	1.3	▲ 0.0	1.2	0.1
北海道	261.4	265.8	1.7	▲ 0.0	1.5	0.2	滋賀	284.8	287.5	0.9	▲ 0.0	0.9	0.1
青森	233.4	236.5	1.3	▲ 0.0	1.0	0.3	京都	291.7	296.0	1.5	▲ 0.0	1.4	0.1
岩手	239.9	243.6	1.6	▲ 0.0	1.3	0.3	大阪	304.7	308.7	1.3	▲ 0.0	1.2	0.1
宮城	264.6	268.4	1.4	▲ 0.0	1.3	0.2	兵庫	291.9	295.5	1.2	▲ 0.0	1.1	0.1
秋田	233.9	236.7	1.2	▲ 0.0	1.0	0.2	奈良	283.4	285.9	0.9	0.0	0.7	0.2
山形	244.7	248.3	1.5	▲ 0.0	1.2	0.3	和歌山	271.6	274.5	1.1	▲ 0.0	0.9	0.2
福島	265.1	269.8	1.8	▲ 0.0	1.6	0.2	鳥取	240.6	243.1	1.0	▲ 0.0	0.9	0.2
茨城	287.2	290.9	1.3	▲ 0.0	1.2	0.1	島根	245.9	248.4	1.0	▲ 0.0	0.9	0.1
栃木	282.0	286.0	1.4	▲ 0.0	1.4	0.1	岡山	270.9	274.0	1.1	▲ 0.0	1.0	0.2
群馬	283.5	287.1	1.3	▲ 0.0	1.1	0.2	広島	278.1	281.5	1.2	▲ 0.0	1.1	0.1
埼玉	300.7	305.4	1.6	▲ 0.0	1.5	0.1	山口	269.3	271.8	0.9	▲ 0.0	0.8	0.1
千葉県	298.9	303.2	1.4	▲ 0.0	1.4	0.0	徳島	255.9	259.0	1.2	▲ 0.0	0.9	0.3
東京都	317.1	320.8	1.2	▲ 0.0	1.1	0.0	香川	268.0	271.1	1.2	▲ 0.0	1.0	0.2
神奈川県	315.3	318.6	1.0	▲ 0.0	1.1	▲ 0.0	愛媛	259.9	263.4	1.4	▲ 0.0	1.1	0.2
新潟	261.1	263.6	0.9	▲ 0.0	0.9	0.1	高知	252.2	255.5	1.3	▲ 0.0	1.1	0.2
富山	275.9	278.3	0.9	▲ 0.0	0.8	0.0	福岡	271.9	276.0	1.5	▲ 0.0	1.3	0.2
石川	272.0	274.7	1.0	▲ 0.0	0.9	0.1	佐賀	247.2	250.7	1.4	▲ 0.0	1.2	0.3
福井	268.6	271.3	1.0	0.0	0.8	0.2	長崎	248.6	251.4	1.1	▲ 0.0	0.9	0.2
山梨	278.5	280.8	0.8	▲ 0.0	0.7	0.1	熊本	245.7	249.8	1.6	▲ 0.0	1.4	0.3
長野	271.8	274.5	1.0	▲ 0.0	0.9	0.1	大分	253.1	256.9	1.5	▲ 0.0	1.2	0.3
岐阜	288.3	290.8	0.9	▲ 0.0	0.8	0.1	宮崎	240.7	244.4	1.6	▲ 0.0	1.2	0.3
静岡県	286.0	288.9	1.0	▲ 0.0	1.0	0.1	鹿児島	246.7	250.6	1.6	▲ 0.0	1.3	0.3
愛知県	305.6	309.0	1.1	▲ 0.0	1.0	0.1	沖縄	232.9	237.1	1.8	▲ 0.0	1.2	0.6

注:標準報酬月額118千円以下を短時間労働者とみなした。

協会けんぽの支部別平均標準報酬月額の変化の寄与別分解 (平成28年9月→平成29年9月)

標準報酬月額118千円以下を短時間労働者とみなした。

- ① いくつかの支部で短時間労働の被保険者数割合が上昇した
(平均標準報酬月額の対前年伸び率にはマイナス影響)。
- ② また、平均標準報酬月額の対前年伸び率が前年に比べ低くなり、マイナスとなった支部もあった。



注: 標準報酬月額118千円以下を短時間労働者とみなした。

協会けんぽの支部別平均標準報酬月額の変化の寄与別分解 (平成28年9月→平成29年9月)

標準報酬月額118千円以下を短時間労働者とみなした。

- ① いくつかの支部で短時間労働の被保険者数割合が上昇した
(平均標準報酬月額の対前年伸び率にはマイナス影響)。
- ② また、平均標準報酬月額の対前年伸び率が前年に比べ低くなり、マイナスとなった支部もあった。

(単位:千円、伸び率は%)

都道府県	H28.9	H29.9	対前年伸び率	平均標準報酬月額(118千円以下)	平均標準報酬月額(118千円超)	短時間労働者の被保険者数割合	都道府県	H28.9	H29.9	対前年伸び率	平均標準報酬月額(118千円以下)	平均標準報酬月額(118千円超)	短時間労働者の被保険者数割合
				の変化分	の変化分	の変化分					の変化分	の変化分	の変化分
全 国	286.4	287.6	0.4	▲ 0.0	0.5	▲ 0.1	三 重	287.7	289.0	0.4	0.0	0.6	▲ 0.1
北 海 道	265.8	268.5	1.0	▲ 0.0	1.0	0.0	滋 賀	287.5	287.3	▲ 0.1	0.0	0.1	▲ 0.2
青 森	236.5	238.1	0.7	▲ 0.0	0.7	0.0	京 都	296.0	296.3	0.1	0.0	0.2	▲ 0.1
岩 手	243.6	245.5	0.8	▲ 0.0	0.6	0.2	大 阪	308.7	308.8	▲ 0.0	0.0	0.2	▲ 0.2
宮 城	268.4	269.1	0.2	▲ 0.0	0.3	▲ 0.0	兵 庫	295.5	295.6	0.0	0.0	0.1	▲ 0.1
秋 田	236.7	238.0	0.5	▲ 0.0	0.2	0.3	奈 良	285.9	287.6	0.6	▲ 0.0	0.6	▲ 0.0
山 形	248.3	250.8	1.0	▲ 0.0	0.8	0.2	和 歌 山	274.5	273.7	▲ 0.3	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.2
福 島	269.8	270.4	0.2	▲ 0.0	0.2	0.1	鳥 取	243.1	244.9	0.7	▲ 0.0	0.7	0.1
茨 城	290.9	292.2	0.5	0.0	0.6	▲ 0.2	島 根	248.4	248.4	0.0	▲ 0.0	▲ 0.1	0.1
栃 木	286.0	287.0	0.3	0.0	0.4	▲ 0.0	岡 山	274.0	275.6	0.6	▲ 0.0	0.6	▲ 0.0
群 馬	287.1	289.0	0.7	▲ 0.0	0.7	0.0	広 島	281.5	281.9	0.1	0.0	0.4	▲ 0.3
埼 玉	305.4	306.4	0.3	0.0	0.7	▲ 0.4	山 口	271.8	273.2	0.5	▲ 0.0	0.5	▲ 0.0
千 葉	303.2	303.3	0.0	0.0	0.3	▲ 0.3	徳 島	259.0	260.2	0.5	▲ 0.0	0.2	0.3
東 京	320.8	319.8	▲ 0.3	0.0	0.1	▲ 0.5	香 川	271.1	271.7	0.2	0.0	0.4	▲ 0.2
神 奈 川	318.6	318.4	▲ 0.1	0.0	0.3	▲ 0.4	愛 媛	263.4	264.6	0.5	▲ 0.0	0.5	0.0
新 潟	263.6	264.9	0.5	▲ 0.0	0.5	▲ 0.0	高 知	255.5	256.7	0.5	▲ 0.0	0.5	0.0
富 山	278.3	279.7	0.5	0.0	0.6	▲ 0.1	福 岡	276.0	277.7	0.6	▲ 0.0	0.6	0.0
石 川	274.7	277.4	1.0	0.0	1.1	▲ 0.1	佐 賀	250.7	253.0	0.9	▲ 0.0	0.7	0.2
福 井	271.3	272.5	0.4	▲ 0.0	0.4	▲ 0.0	長 崎	251.4	252.4	0.4	▲ 0.0	0.3	0.1
山 梨	280.8	282.2	0.5	▲ 0.0	0.5	▲ 0.0	熊 本	249.8	253.8	1.6	▲ 0.0	1.4	0.2
長 野	274.5	274.7	0.1	0.0	0.2	▲ 0.2	大 分	256.9	259.3	0.9	▲ 0.0	0.7	0.3
岐 阜	290.8	290.3	▲ 0.2	0.0	0.3	▲ 0.4	宮 崎	244.4	247.1	1.1	▲ 0.0	0.6	0.5
静 岡	288.9	290.0	0.4	▲ 0.0	0.4	▲ 0.0	鹿 児 島	250.6	253.0	1.0	▲ 0.0	0.7	0.3
愛 知	309.0	308.9	▲ 0.0	0.0	0.2	▲ 0.2	沖 縄	237.1	239.7	1.1	▲ 0.0	0.7	0.4

注:標準報酬月額118千円以下を短時間労働者とみなした。

(参考)

医療保険制度別の加入者数割合の推移等

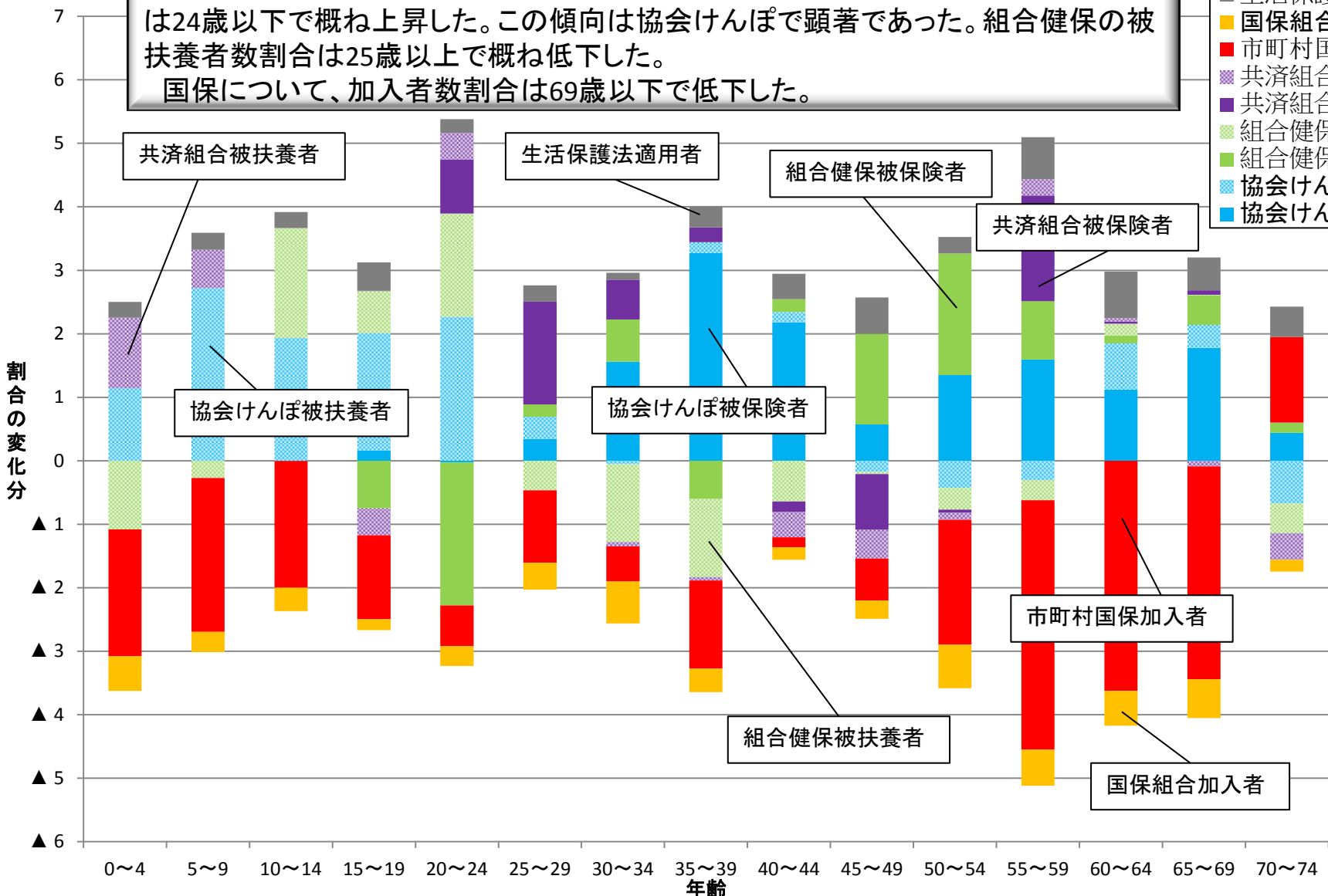
(資料)厚生労働省保険局調査課「医療保険に関する基礎資料」を基に協会けんぽ作成

年齢階級別 各医療保険制度の総人口に占める人数割合の変化(平成20年度→平成25年度)

(%ポイント)

被用者保険について、被保険者数割合は25歳以上で概ね上昇し、被扶養者数割合は24歳以下で概ね上昇した。この傾向は協会けんぽで顕著であった。組合健保の被扶養者数割合は25歳以上で概ね低下した。
 国保について、加入者数割合は69歳以下で低下した。

- 生活保護法適用者
- 国保組合加入者
- 市町村国保加入者
- 共済組合被扶養者
- 共済組合被保険者
- 組合健保被扶養者
- 組合健保被保険者
- 協会けんぽ被扶養者
- 協会けんぽ被保険者



注:人数/総人口の上昇幅(平成20年度→25年度)を示す。
 総人口は各年10月1日時点の数値である。

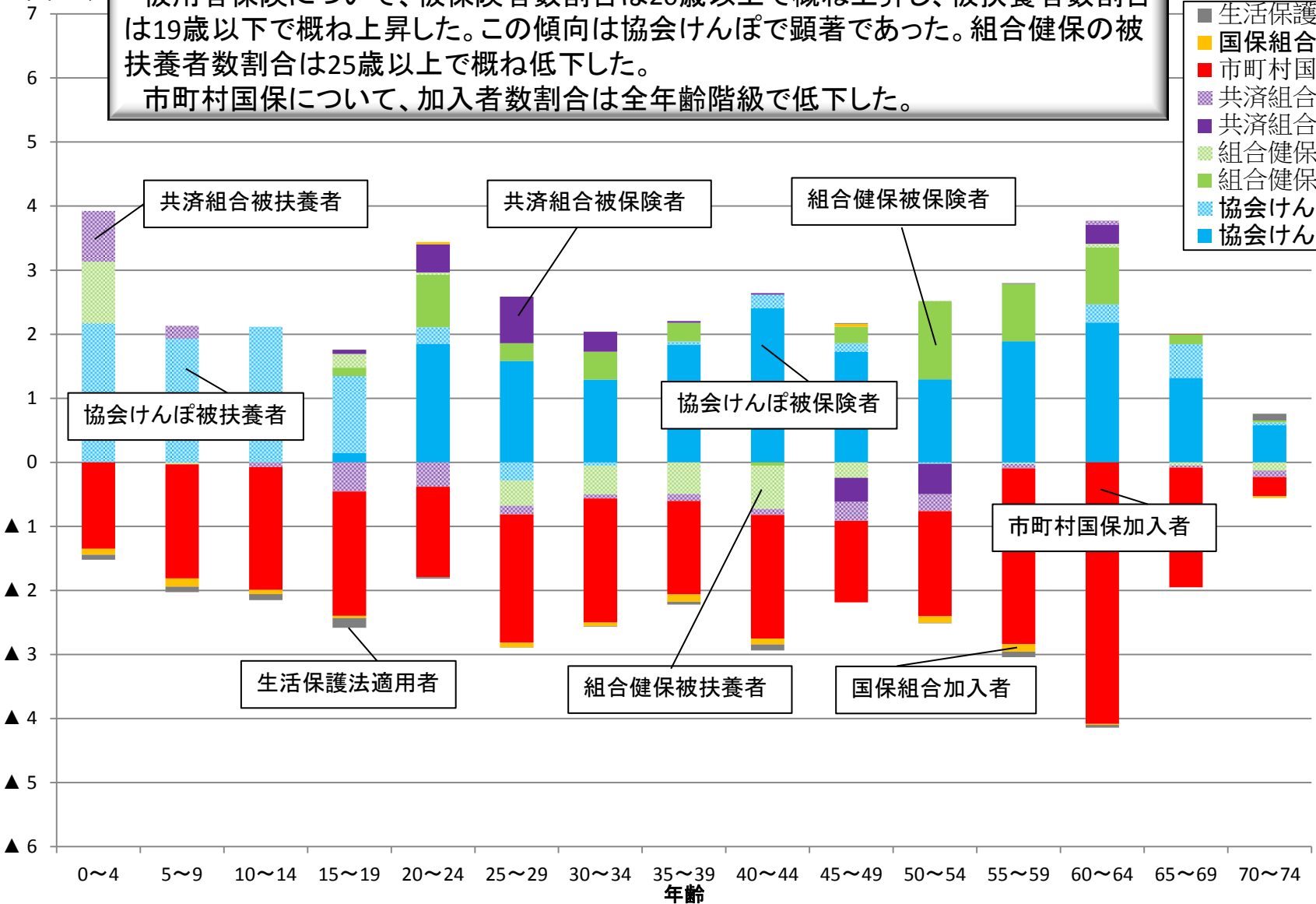
年齢階級別 各医療保険制度の総人口に占める人数割合の変化(平成25年度→平成27年度)

(%ポイント)

被用者保険について、被保険者数割合は20歳以上で概ね上昇し、被扶養者数割合は19歳以下で概ね上昇した。この傾向は協会けんぽで顕著であった。組合健保の被扶養者数割合は25歳以上で概ね低下した。
市町村国保について、加入者数割合は全年齢階級で低下した。

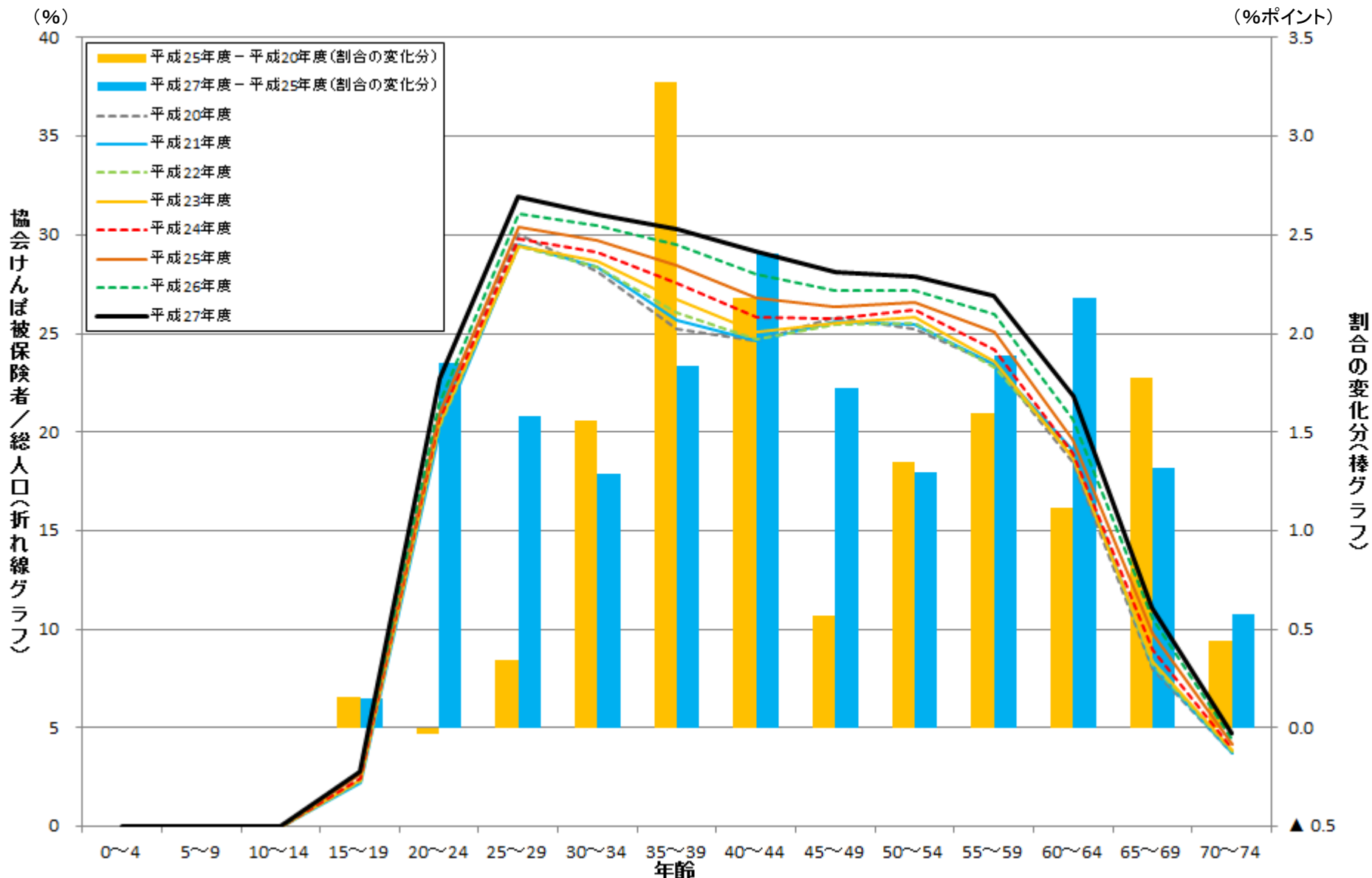
- 生活保護法適用者
- 国保組合加入者
- 市町村国保加入者
- 共済組合被扶養者
- 共済組合被保険者
- 組合健保被扶養者
- 組合健保被保険者
- 協会けんぽ被扶養者
- 協会けんぽ被保険者

割合の変化分



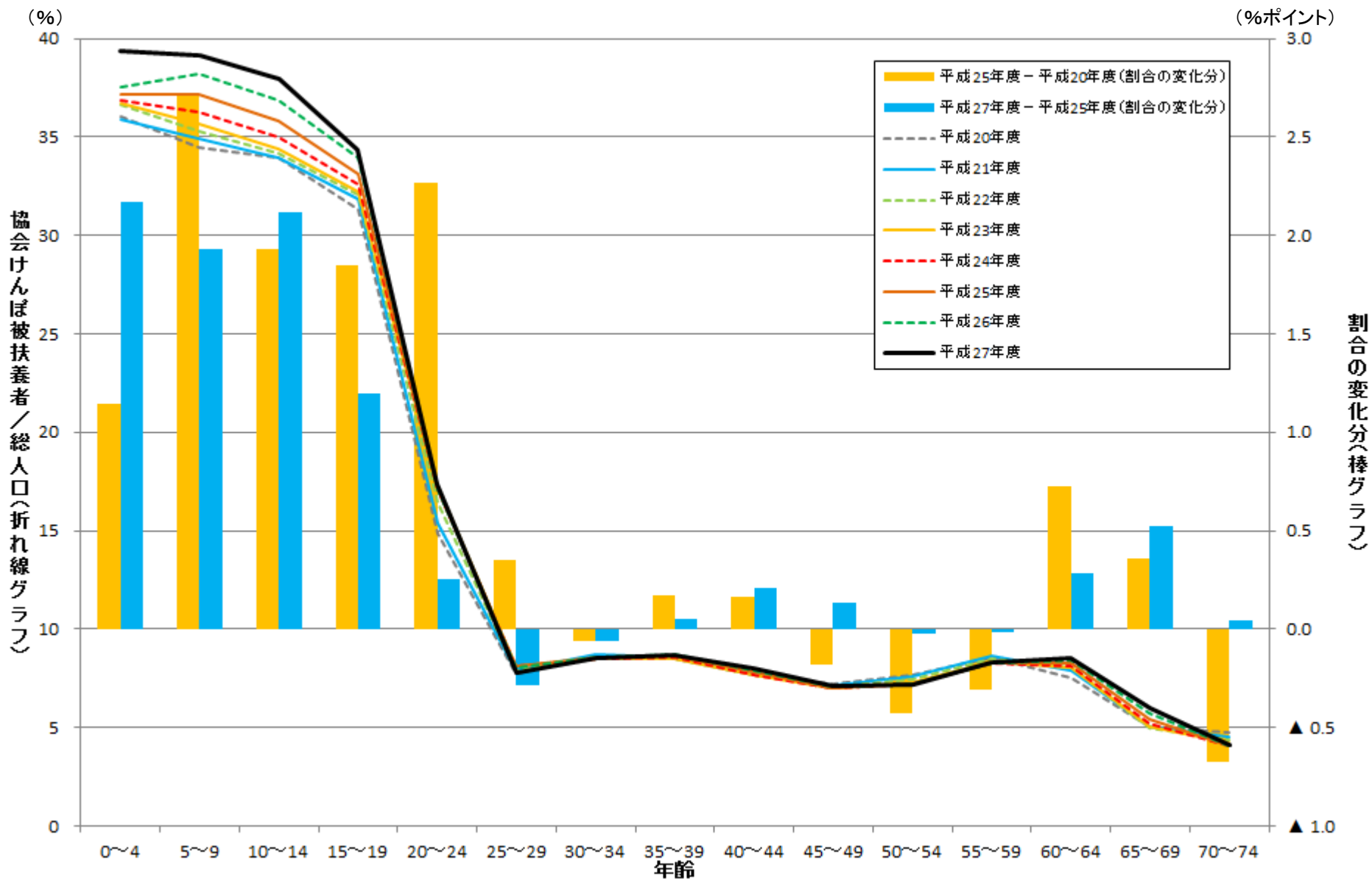
注:人数/総人口の上昇幅(平成25年度→27年度)を示す。
総人口は各年10月1日時点の数値である。

年齢階級別 協会けんぽ被保険者数の総人口に占める割合の推移



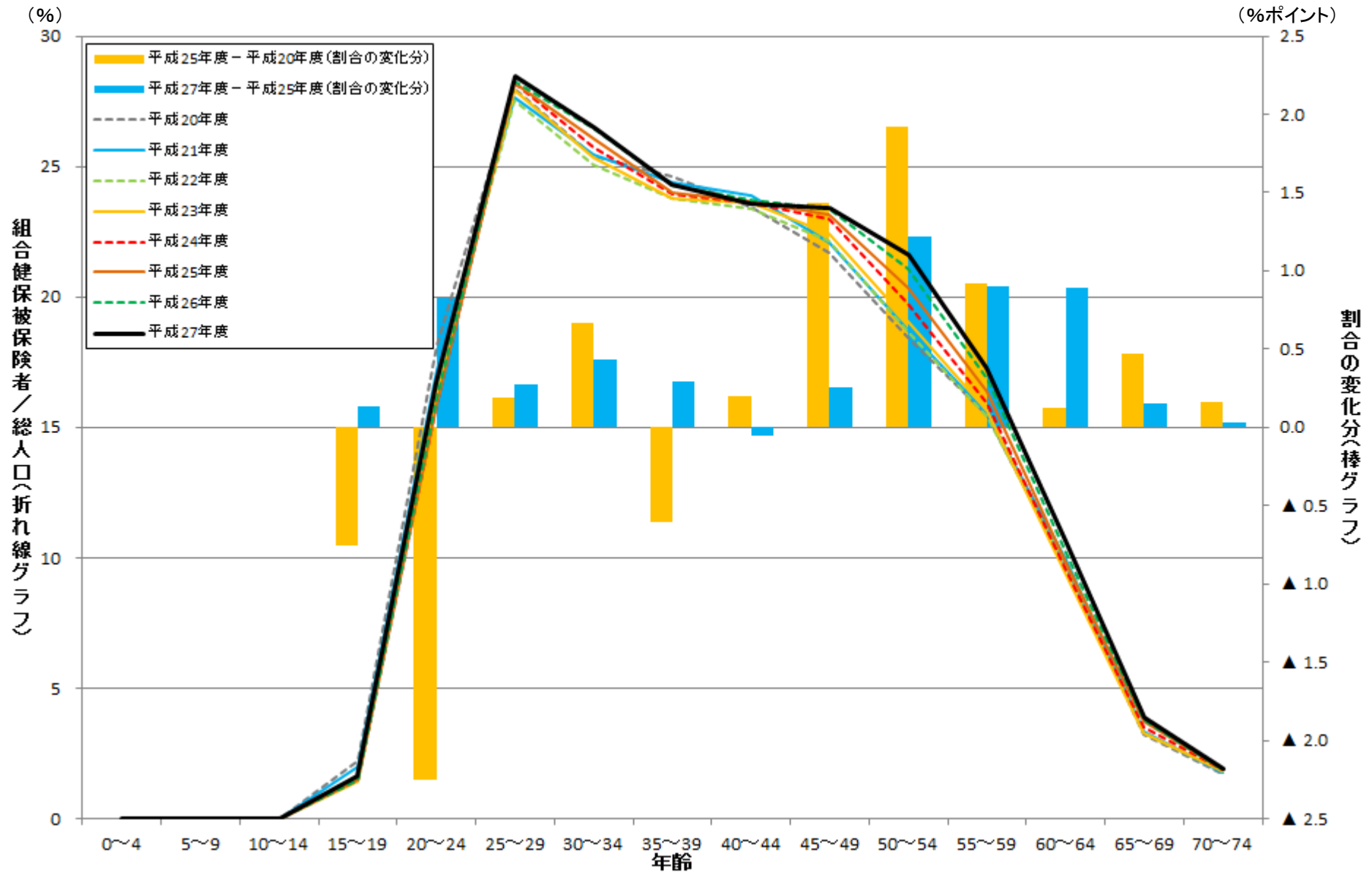
注：折れ線グラフは人数／総人口、棒グラフはその上昇幅（平成20年度→25年度→27年度）を示す。
 総人口は各年10月1日時点の数値である。

年齢階級別 協会けんぽ被扶養者数の総人口に占める割合の推移

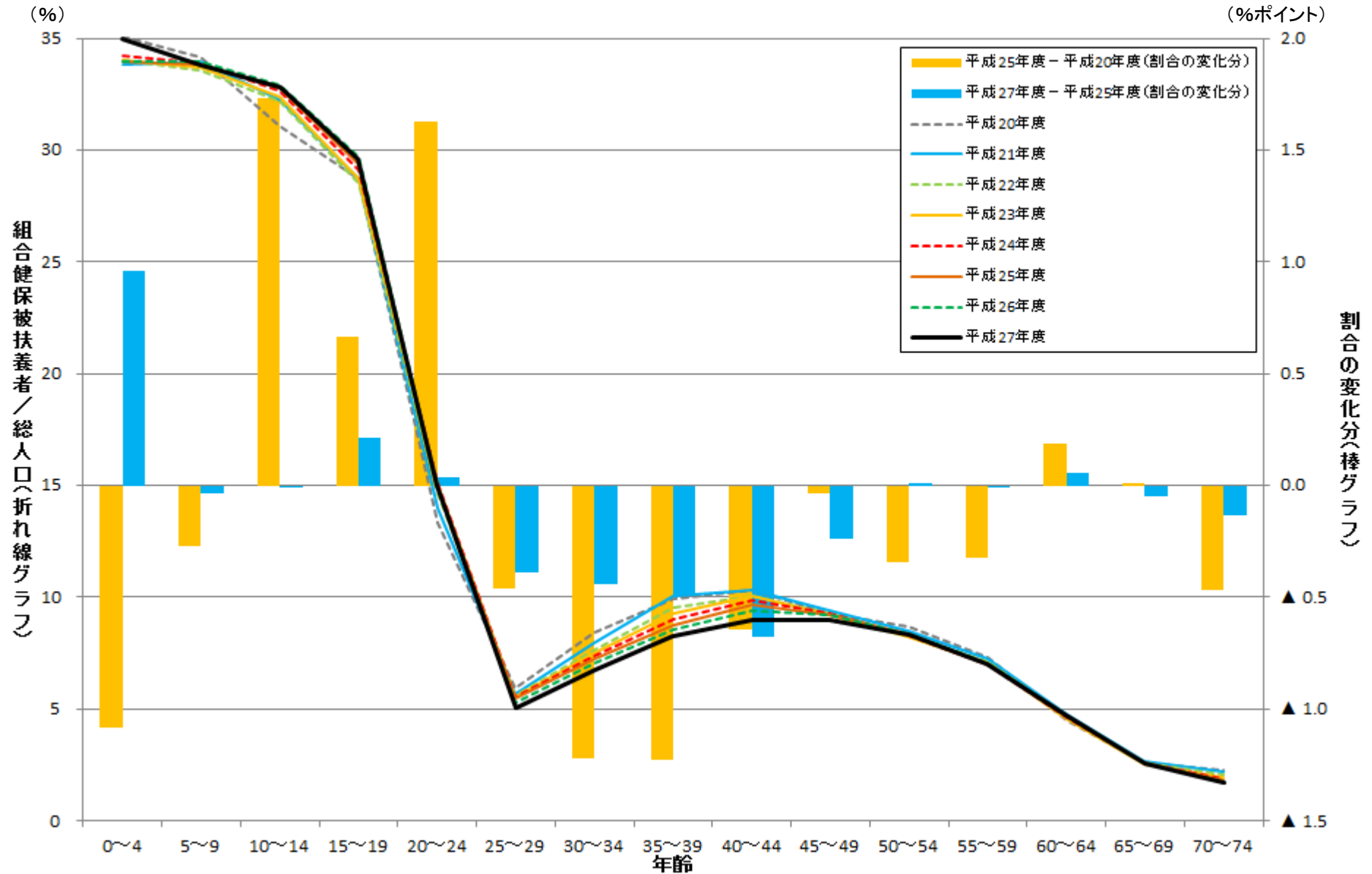


注: 折れ線グラフは人数/総人口、棒グラフはその上昇幅(平成20年度→25年度→27年度)を示す。
 総人口は各年10月1日時点の数値である。

年齢階級別 組合健保被保険者数の総人口に占める割合の推移

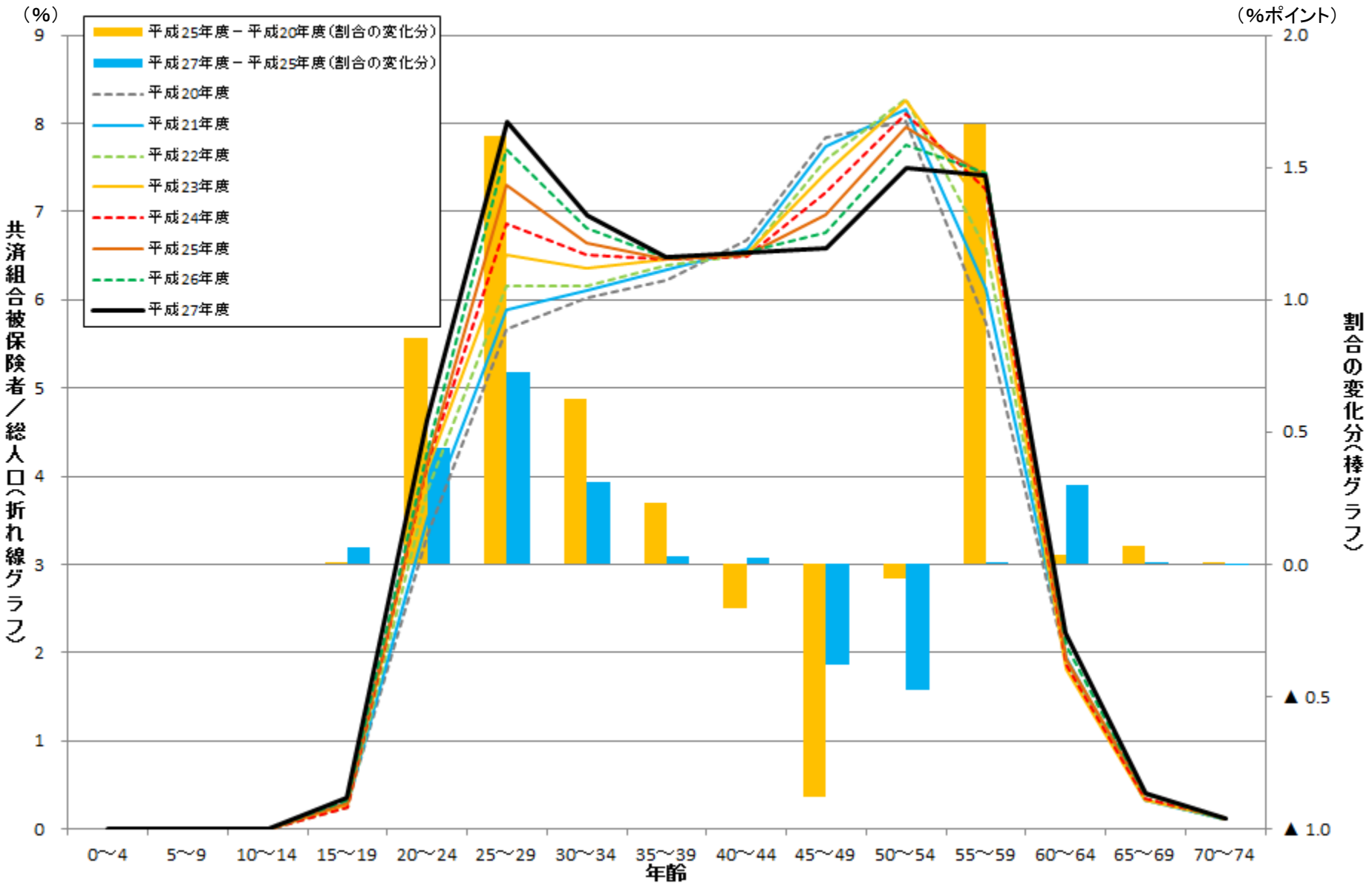


年齢階級別 組合健保被扶養者数の総人口に占める割合の推移



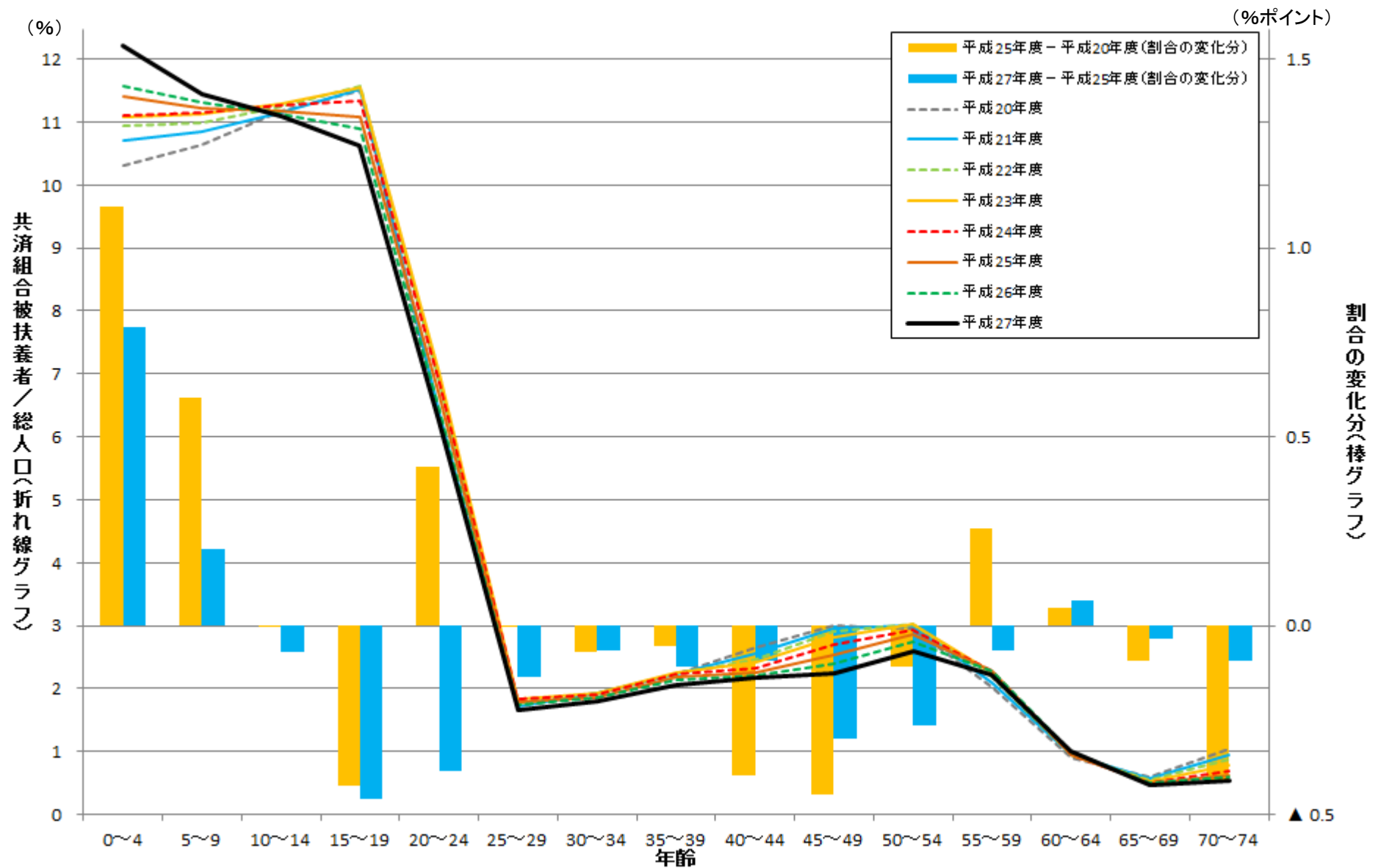
注：折れ線グラフは人数／総人口、棒グラフはその上昇幅（平成20年度→25年度→27年度）を示す。
 総人口は各年10月1日時点の数値である。

年齢階級別 共済組合被保険者数の総人口に占める割合の推移



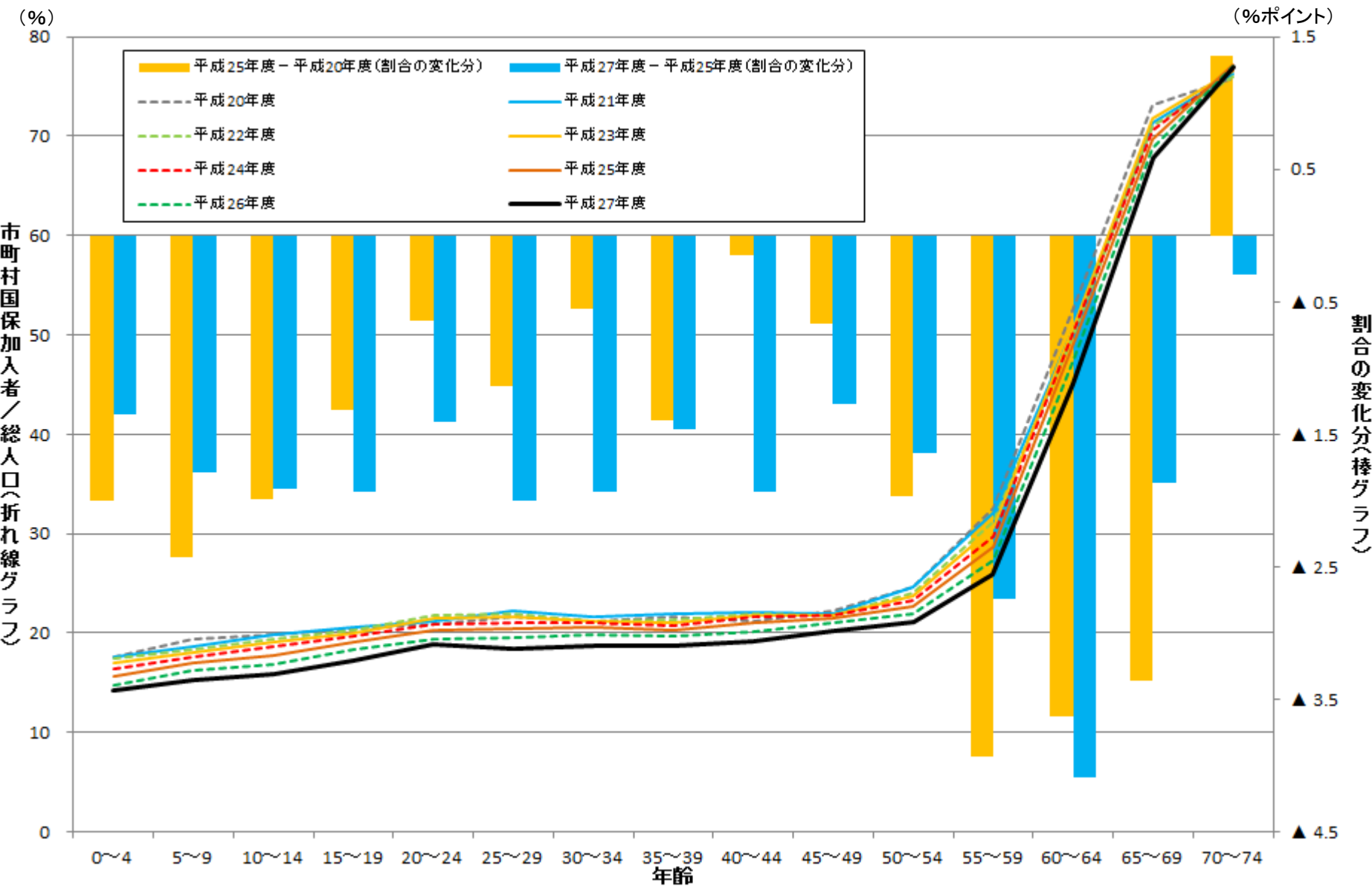
注: 折れ線グラフは人数/総人口、棒グラフはその上昇幅(平成20年度→25年度→27年度)を示す。
 総人口は各年10月1日時点の数値である。

年齢階級別 共済組合被扶養者数の総人口に占める割合の推移



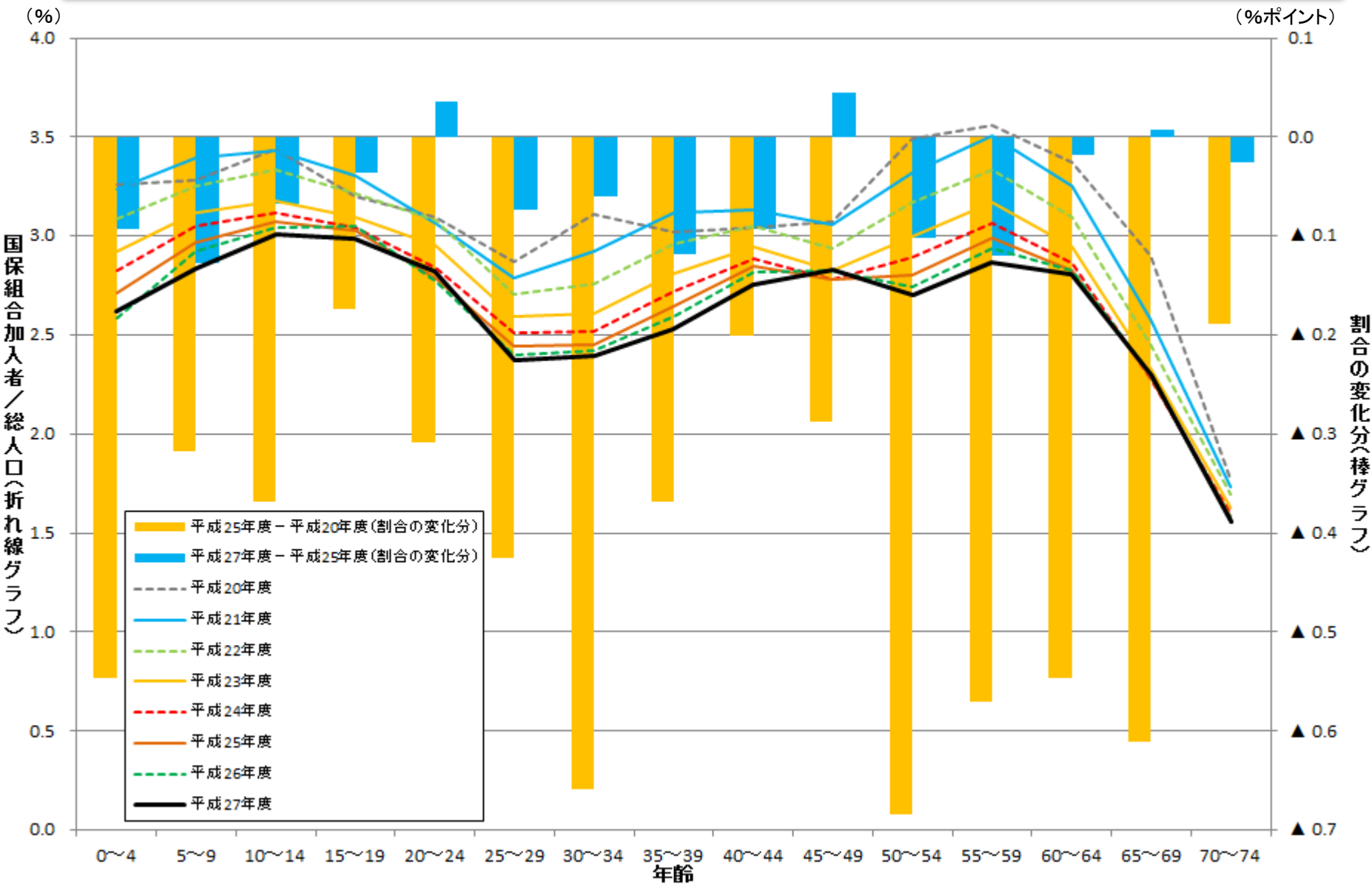
注:折れ線グラフは人数/総人口、棒グラフはその上昇幅(平成20年度→25年度→27年度)を示す。
総人口は各年10月1日時点の数値である。

年齢階級別 市町村国保加入者数の総人口に占める割合の推移



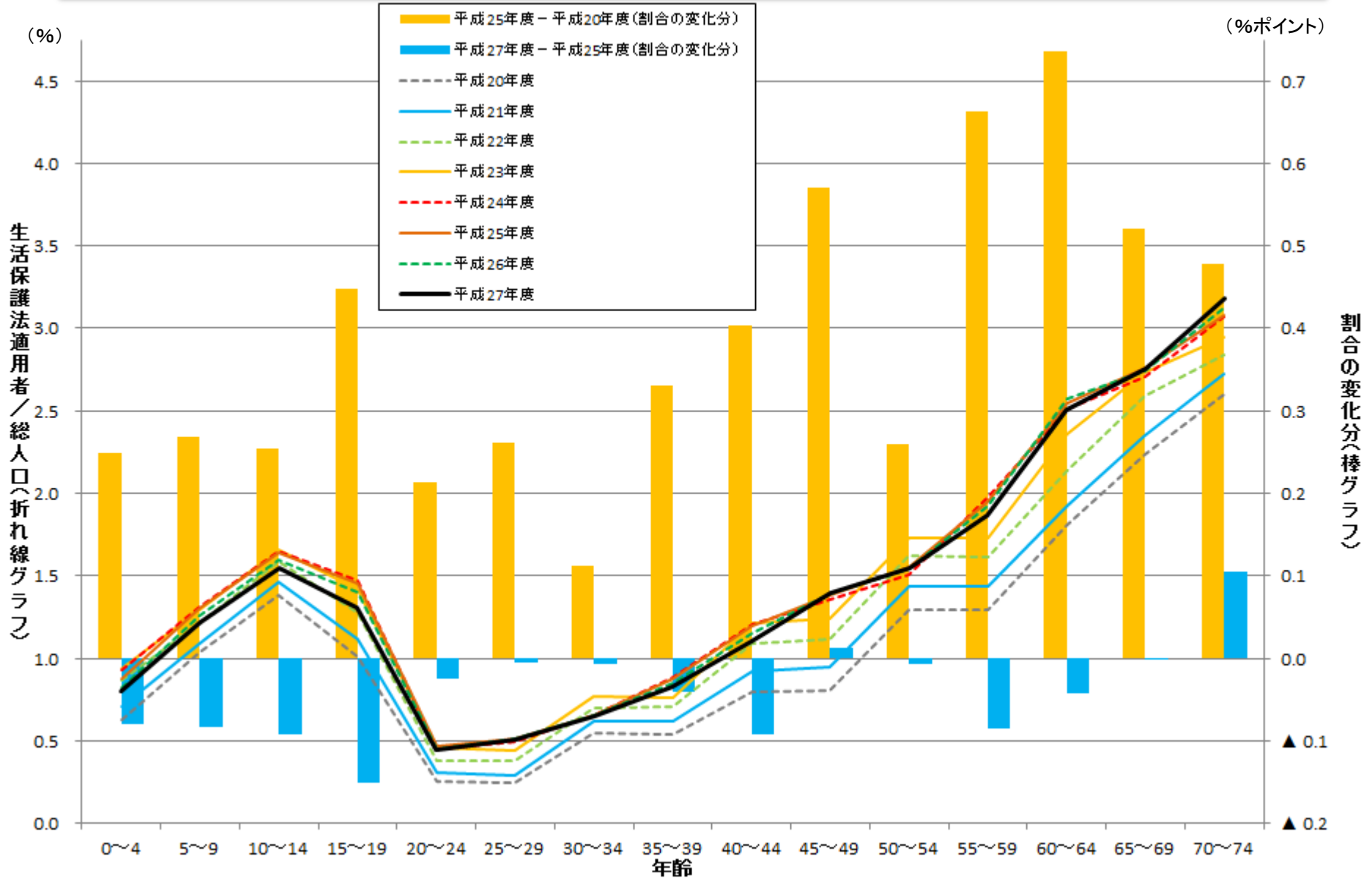
注：折れ線グラフは人数／総人口、棒グラフはその上昇幅（平成20年度→25年度→27年度）を示す。
 総人口は各年10月1日時点の数値である。

年齢階級別 国保組合加入者数の総人口に占める割合の推移



注：折れ線グラフは人数／総人口、棒グラフはその上昇幅（平成20年度→25年度→27年度）を示す。
 総人口は各年10月1日時点の数値である。

年齢階級別 生活保護法適用者数の総人口に占める割合の推移



注: 折れ線グラフは人数/総人口、棒グラフはその上昇幅(平成20年度→25年度→27年度)を示す。
総人口は各年10月1日時点の数値である。